



## 図書館施設調査の報告3 ■床面積、開架面積、収蔵冊数、座席数など

図書館施設調査の報告3 (2010～2021年)

2021.09.29作成

※調査年度は2010～2021年

調査年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	合計
床面積	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200
開架面積	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
収蔵冊数	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
座席数	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
その他													

・中央館より地域館・分館が少し多いので、小規模な施設が少し多い。

7

## 2. 複合型図書館の事例紹介

- 1) 気仙沼図書館(宮城県)
- 2) 瀬戸内市民図書館(岡山県)
- 3) 恩納村文化情報センター  
(恩納村立図書館、沖縄県)

参考文献

E2269 - 地域の拠点としての図書館施設: 国立国会図書館の調査研究  
カレントアウェアネス-E No.392 2020.06.11

8

## 気仙沼図書館

(設計: 岡田新一設計事務所)



## 気仙沼図書館

(設計: 岡田新一設計事務所)



## 瀬戸内市民図書館

(設計: 香山建築研究所)



11

## 瀬戸内市民図書館



12



### 3. 図書館を含む複合施設の利用状況

- 1) 塩尻市市民交流センター「えんぱーく」  
(塩尻市立図書館、長野県)
- 2) 尾張一宮駅前ビル「i-ビル」  
(一宮市立中央図書館、愛知県)
- 3) 市民交流プラザふくちやま「ききょう」  
(福知山市立図書館中央館、京都府)
- 4) 安城市中心市街地拠点施設「アンフォーレ」  
(安城市図書館情報館、愛知県)<sup>5</sup>



■ 塩尻と一宮の交通手段と利用者層の割合(全体)

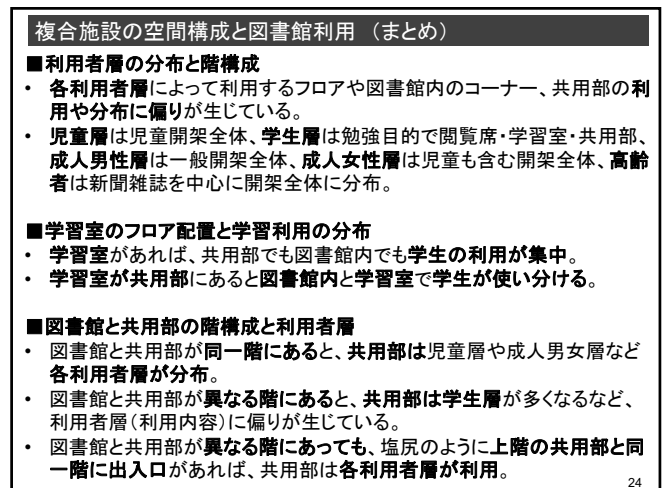
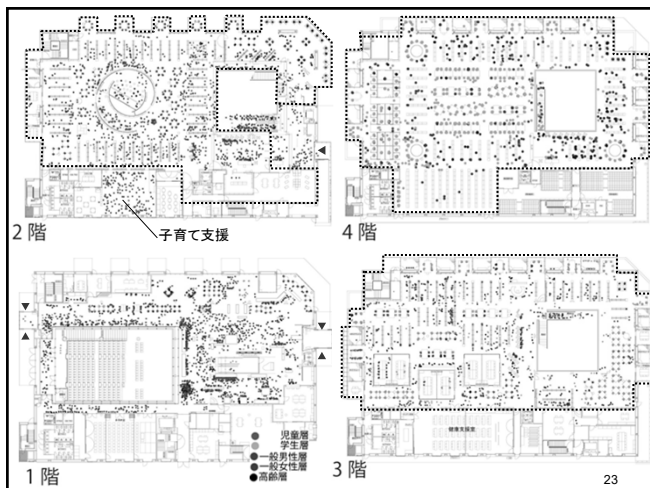
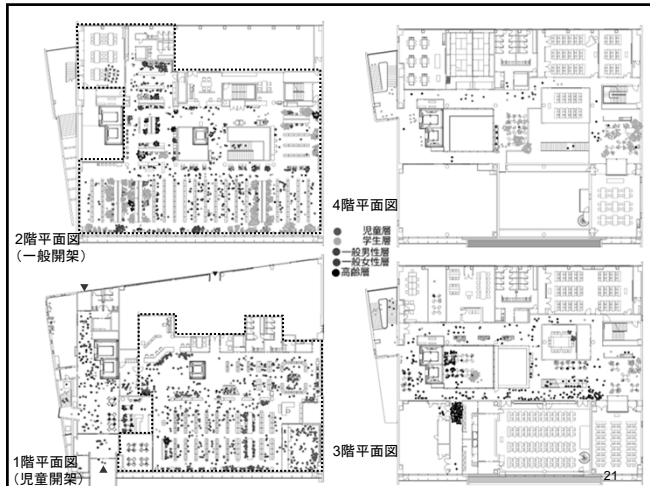
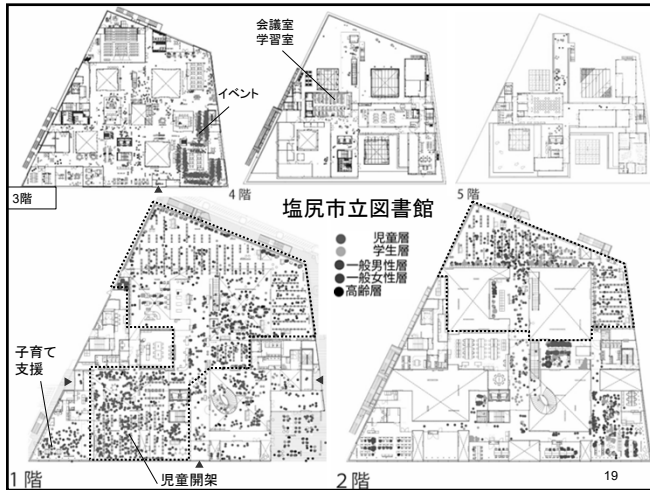
交通手段	塩尻	一宮	過去	属性	塩尻	一宮	過去
徒歩	9%	14%	6%	1.児童	23%	22%	26%
自転車	17%	20%	20%	2.学生	16%	13%	17%
バイク	2%	0%	2%	3.有職男	23%	21%	23%
車	64%	41%	68%	4.有職女	9%	12%	9%
バス	2%	5%	2%	5.主婦	18%	13%	21%
鉄道	4%	13%	2%	6.高齢者	6%	10%	4%
他・不明	2%	7%		7.不明	6%	10%	
総計	100%	100%	100%	総計	100%	100%	100%

・過去の調査は車が7割であったが、一宮は車が約4割、塩尻65%。  
・一宮は徒歩、鉄道もそれぞれ約10%増となっている。  
・立地と駐車場の問題が大きく影響していると考えられる。

・一宮は主婦が約10%減少し、高齢者が増加。  
・主婦は家族連れでの利用が多く、「近さ」を優先していた。  
・主婦層は図書の貸出が主目的、男性層は移動するか本を購入。

↓

・一宮では家族連れの子どもの利用が減少しているのでは？



## 複合施設の図書館利用について利用

(図書館雑誌2016年4月号)

## ■複合施設について利用

- ・複合施設全体では図書館を使わない人は約15%
- ・図書館と他の施設を利用するについて利用者は15～20%。
- ↓
- ・図書館のある複合施設では約8割の利用者が図書館を利用。
- ・について利用者は約2割となり、図書館利用者が大半を占める。
- ↓

複合施設といえども、よい図書館を計画しなければ  
図書館も利用されず、複合施設全体の利用率も下がるという。

## ■ゆるやかな連携について利用

- ・塩尻は吹抜けがあり、壁やガラスで各機能が仕切られていない。
- ・図書館を含むについて利用が約3割と他の施設に比べて多い。
- ↓

ゆるやかに連携した複合施設では、単独館では現れない施設  
サービスへの需要が掘り起こされ、今まで利用してこなかった人た  
ちに、施設利用のきっかけを与えることができるか。(今後の課題)<sup>25</sup>

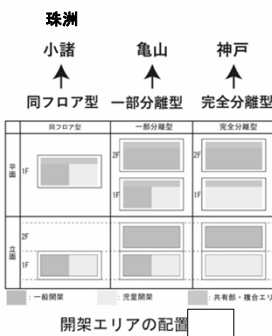
## 4.開架エリア内での滞在行动と平面構成

- 1) 開架エリアのタイプ別の利用状況
- 2) 開架エリアでの滞在場所
- 3) 開架エリアの平面構成と滞在利用の内容
- 4) 一般利用者と児童の座席選択

26

## 開架エリアの空間構成

## 2-1 調査対象館の選定



## &lt; 同フロア型 &gt;

- ・開架エリアは積層しておらず、同じ階に一般開架と児童開架が配置されている場合。

## &lt; 一部分離型 &gt;

- ・開架エリアが積層しており、同じ階に一般開架と児童開架が配置されている階と、どちらか片方だけの開架がある階がある場合。

## &lt; 完全分離型 &gt;

- ・開架エリアが積層しており、一般開架と児童開架が階ごとに完全に分離している場合。

27

## 調査概要

## 2-2 調査対象館の概要

	同フロア型	同フロア型	一部分離型	完全分離型
人口(A)	12,947	41,557	49,431	233,958
面積(km <sup>2</sup> )	247.2	98.55	191.04	138.01
人口密度(人/km <sup>2</sup> )	52.4	421.7	258.7	1695.2
図書館名	珠洲市民図書館	市立小諸図書館	亀山市民図書館	神戸市立西図書館
竣工年月	2019/3	2015/11	2022/10	2022/07
延床面積(m <sup>2</sup> )	2664.01	19945.44	11093.71	6172.00
図書館面積(m <sup>2</sup> )	2257	2150	3573.04	2275
階数	1F	1F	1-4F	1-3F
エリア配置	同フロア型	同フロア型	一部分離型	完全分離型
複合形態	複合	複合	複合	複合
蔵書冊数(千冊)	140	190	165	200
開架冊数(千冊)	60	108	71	170
開架時間	9:00-19:00	9:00-18:00	9:00-21:00	10:00-20:00
調査日	2021/9/24-25	2023/10/7	2023/9/9	2023/9/16
調査名	アンケート調査			
来館者数(児童)	368(47)	429(56)	768(174)	1603(238)
配布数(児童)	316(38)	382(52)	664(143)	1385(209)
回収率(児童)	306(38)	373(52)	627(136)	1276(199)
回収率(児童)	97%(100%)	97.6%(100%)	94.4%(95.1%)	92.1%(95.2%)
調査名	座席調査			
調査回数	40	36	48	40
プロット数	827	2009	3561	4772
観内座席数	143	207	381	289
調査名	通観調査			
調査人数(児童)	26(3)	22(5)	37(8)	23(5)

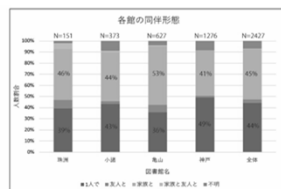


28

## 利用者属性別にみた図書館利用の動向



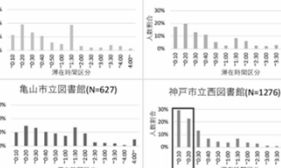
珠洲は学生が少なく、神戸は高齢者が多い



個人とグループの同伴形態は変化なし

属性	珠洲	小諸	亀山	神戸
児童	68分	41分	68分	39分
学生	114分	183分	119分	89分
一般男性	59分	65分	66分	42分
一般女性	53分	55分	55分	33分
高齢者	46分	56分	47分	31分
属性不明	27分	44分	43分	25分
合計	58分	69分	69分	38分

神戸はどの属性も滞在時間が短い

神戸は20分以内が50%を占める<sup>29</sup>

## 開架エリアでの利用者の滞在場所と行為割合



着座行為率(着座人数/滞在者数)は60～70%程度で推移している。  
滞在時間は多少差があったが、着座行為率はあまり差がない<sup>30</sup>

## 開架エリアでの利用者の滞在場所と行為割合

各館の利用者属性別の行為割合										各館の利用者属性別の滞在場所									
行為内容	児童層	学生層	成人男性	成人女性	高齢者層	合計	開架	小読	小読	開架	小読	開架	小読	開架	小読	開架	小読	開架	小読
読書行為	30%	9%	25%	15%	8%	25%	18%	11%	11%	25%	11%	18%	11%	25%	11%	18%	11%	11%	11%
探索行為	12%	9%	14%	9%	8%	14%	12%	11%	11%	12%	11%	12%	11%	12%	11%	12%	11%	11%	11%
勉強行為	16%	30%	5%	13%	5%	13%	16%	30%	5%	13%	16%	30%	5%	13%	16%	30%	5%	13%	16%
作業行為	0%	16%	15%	18%	5%	13%	0%	16%	15%	18%	5%	13%	0%	16%	15%	18%	5%	13%	16%
移動行為	4%	6%	6%	7%	3%	6%	4%	6%	6%	7%	3%	6%	4%	6%	6%	7%	3%	6%	6%
その他	36%	29%	22%	35%	38%	31%	36%	29%	22%	35%	38%	31%	36%	29%	22%	35%	38%	31%	36%
対象プロット数	91	87	170	213	86	647	91	87	170	213	86	647	91	87	170	213	86	647	91
読書行為	18%	5%	17%	24%	30%	18%	18%	5%	17%	24%	30%	18%	18%	5%	17%	24%	30%	18%	18%
探索行為	20%	2%	11%	17%	10%	9%	20%	2%	11%	17%	10%	9%	20%	2%	11%	17%	10%	9%	20%
勉強行為	22%	66%	32%	18%	12%	38%	22%	66%	32%	18%	12%	38%	22%	66%	32%	18%	12%	38%	22%
作業行為	17%	5%	4%	6%	3%	6%	17%	5%	4%	6%	3%	6%	17%	5%	4%	6%	3%	6%	17%
移動行為	0%	12%	17%	18%	13%	14%	0%	12%	17%	18%	13%	14%	0%	12%	17%	18%	13%	14%	0%
その他	20%	7%	11%	15%	15%	12%	20%	7%	11%	15%	15%	12%	20%	7%	11%	15%	15%	12%	20%
対象プロット数	147	748	270	426	303	1894	147	748	270	426	303	1894	147	748	270	426	303	1894	147
読書行為	33%	8%	25%	20%	48%	18%	33%	8%	25%	20%	48%	18%	33%	8%	25%	20%	48%	18%	33%
探索行為	13%	2%	16%	26%	13%	10%	13%	2%	16%	26%	13%	10%	13%	2%	16%	26%	13%	10%	13%
勉強行為	4%	38%	14%	11%	16%	36%	4%	38%	14%	11%	16%	36%	4%	38%	14%	11%	16%	36%	4%
作業行為	15%	11%	10%	12%	6%	10%	15%	11%	10%	12%	6%	10%	15%	11%	10%	12%	6%	10%	15%
移動行為	21%	4%	15%	17%	12%	10%	21%	4%	15%	17%	12%	10%	21%	4%	15%	17%	12%	10%	21%
その他	13%	39%	27%	18%	13%	12%	13%	39%	27%	18%	13%	12%	13%	39%	27%	18%	13%	12%	13%
対象プロット数	487	1274	372	600	204	3276	487	1274	372	600	204	3276	487	1274	372	600	204	3276	487
読書行為	32%	6%	22%	19%	39%	21%	32%	6%	22%	19%	39%	21%	32%	6%	22%	19%	39%	21%	32%
探索行為	20%	3%	17%	23%	19%	15%	20%	3%	17%	23%	19%	15%	20%	3%	17%	23%	19%	15%	20%
勉強行為	4%	36%	14%	11%	16%	36%	4%	36%	14%	11%	16%	36%	4%	36%	14%	11%	16%	36%	4%
作業行為	1%	9%	9%	8%	6%	7%	1%	9%	9%	8%	6%	7%	1%	9%	9%	8%	6%	7%	1%
移動行為	21%	4%	15%	17%	12%	10%	21%	4%	15%	17%	12%	10%	21%	4%	15%	17%	12%	10%	21%
その他	13%	39%	27%	18%	13%	12%	13%	39%	27%	18%	13%	12%	13%	39%	27%	18%	13%	12%	13%
対象プロット数	634	1457	729	947	308	4675	634	1457	729	947	308	4675	634	1457	729	947	308	4675	634

珠洲は学生が少いため勉強行為が少ない

珠洲は学生が少なく、小読・亀山・神戸は各階で偏りはあるが、全体の合計は滞在時間の長い学生が多く、属性の割合に大きな差はない。

26種類の行為を読書行為、探索行為、勉強行為、会話行為、作業行為、移動行為、その他に集約。

開架エリアの平面構成が異なるが、小読・亀山・神戸の行為割合に大きな差がない

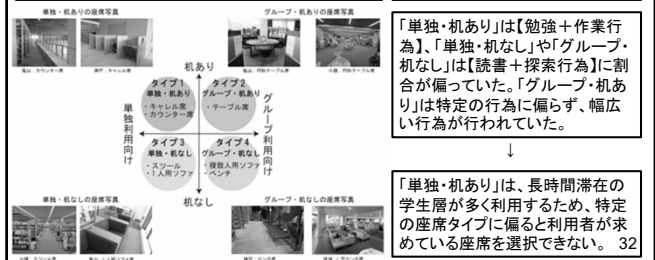
開架エリアの平面構成や空間構成が異なっても利用者の行為内容は変化しない<sup>1)</sup>

## 座席タイプからみた利用者層と着座行為

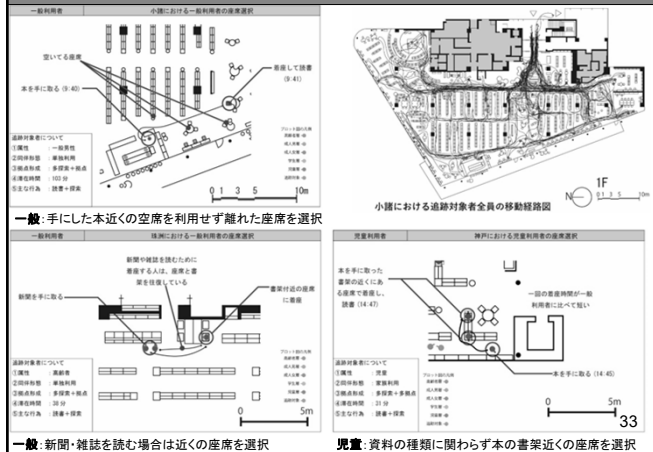
座席タイプ	珠洲	小読	亀山	神戸	4館
単独・机あり	19%	29%	22%	5%	19%
グループ・机あり	48%	33%	64%	4%	48%
単独・机なし	20%	28%	14%	80%	17%
グループ・机なし	13%	10%	0%	26%	0%
座席数	205	209	107	88	139

珠洲と亀山は「グループ・机あり」が4～5割で、単独机ありと単独机なしは2割、小読はどれも約3割。

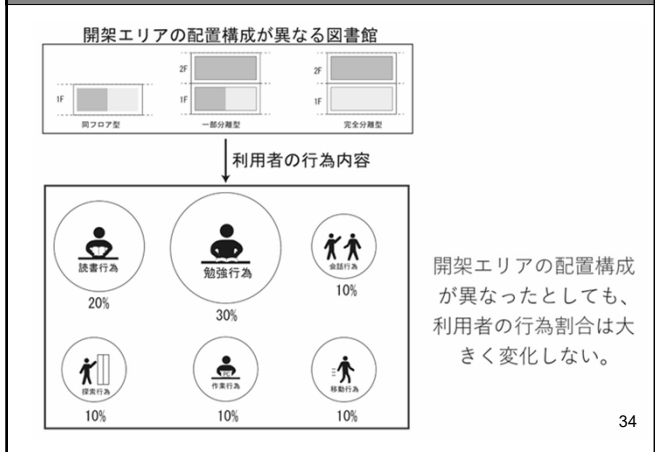
神戸は「単独・机あり」が約6割も占めている。



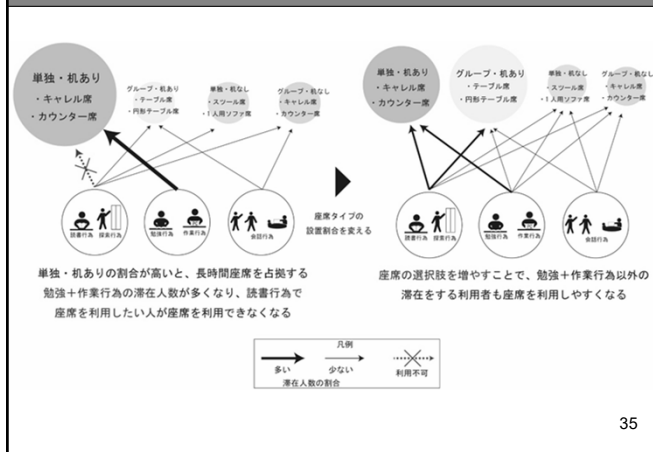
## 移動経路と滞在場所からみた利用者の拠点形成(追跡調査)



## まとめ：①開架エリアの空間構成と利用者の行為内容と滞在場所

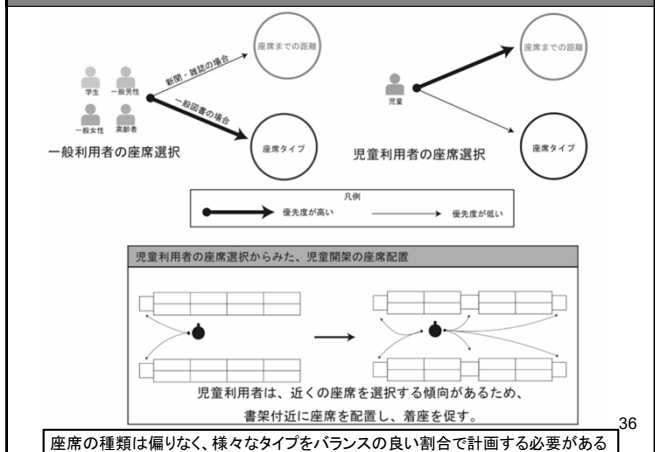


## まとめ：②座席タイプと利用者の着座行為と座席選択



35

## まとめ：③座席タイプと利用者の着座行為と座席選択



36

## 5. 複合施設の階構成と利用者の居場所選択

- 1) 図書館と他施設の利用状況
- 2) 滞在者分布と行為割合
- 3) 図書館利用者の他施設への動線
- 4) 立体的にみた滞在場所と移動経路

37



調査対象館の施設構成

38

### 各施設の図書館と他施設の利用状況

	亀山	黒部	綾部	合計	既往研究
図書館利用者	92%	75%	82%	84%	77%
他施設利用者	19%	39%	39%	31%	28%
図書館のみ	75%	54%	54%	62%	61%
図書館+他施設	17%	17%	29%	22%	16%
他施設のみ	2%	22%	10%	9%	12%
図書館のみ利用型	53%	35%	23%	38%	
他施設のみ利用型	2%	9%	4%	4%	
別日使い分け利用型	21%	24%	33%	26%	
同日複合利用型	16%	19%	29%	22%	
不明	9%	12%	12%	11%	9%
回答者数	629	527	513	1669	4202

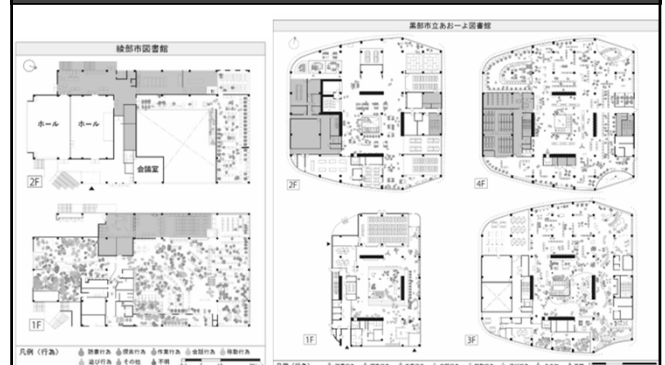
・図書館利用者は黒部で少し低い、亀山・綾部は8割を超える。

・図書館+他施設は、綾部が3割と高く、黒部は他施設のみが2割と多く、複合している他施設によって、利用に差が生じている。

・調査当日+過去も含めると、図書館と他施設を合わせて利用している利用パターンは、亀山と黒部で4割、綾部では6割となっている。

39

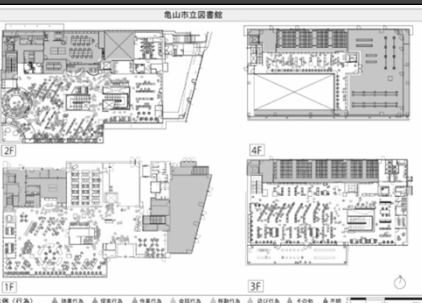
### 滞在分布と行為割合



・どの施設でも、各階で行為の分布に、少し偏りが生じている。

40

### 滞在分布と行為割合

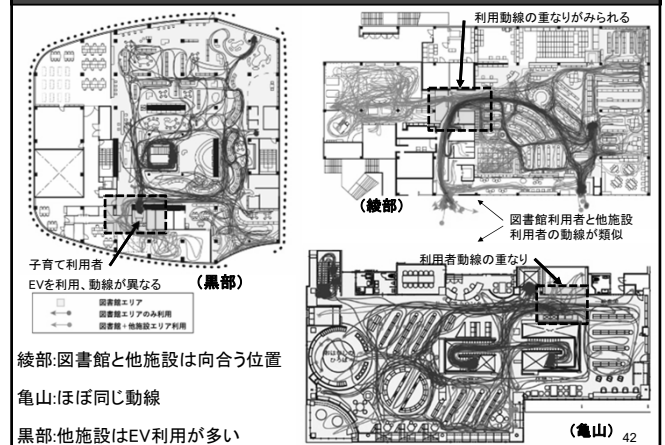


・図書館エリア内での行為割合に大きな差はない。

・施設全体の行為割合は複合相手の他施設により変化している。

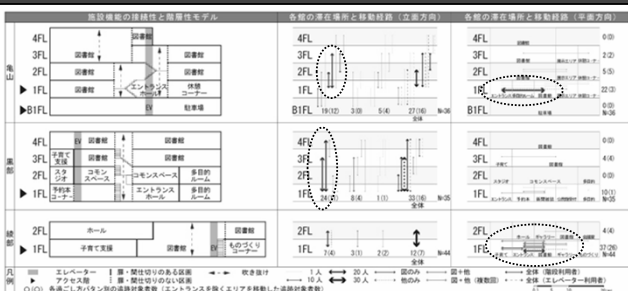
41

### 図書館利用者の主要動線からみた他施設利用状況



42

## 滞在場所と移動経路



各館の施設構成モデルと立面方向・平面方向における利用行動の模式図

立面方向：起点の1階から上階へのEV利用が多く、階を通り過ぎる。  
平面方向：同一フロアにあると相互利用が多い。

多機能融合型図書館では、図書館を含む様々な施設機能を**同フロアに設け**、別のフロアにいても、**お互いの様子をうかがえるような施設計画**が好ましい。

43

## 6. 地域内でみたビフォー・アフターの 図書館利用動向

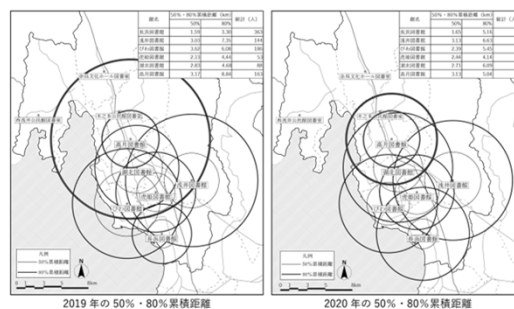
- 1) ながはま文化福祉プラザ  
(長浜図書館、滋賀県)
- 2) 珠洲市民図書館・すずキッズランド  
(石川県)

44

## 長浜さざなみタウン(長浜図書館)



各図書館の50%・80%累積距離の広がり



- ・中央館となった長浜の圏域が広がった。
- ・高月の圏域が狭くなったが、他の4館ではあまり変化はみられなかった。
- ・2019年は長浜地区から地区外の図書館の利用が多い。
- ・2020年は地区外から長浜への利用が増加している。
- ・中央館(長浜)の利用が増加しながら、地域館も継続して利用されている。

46

## 中央館新設による利用する図書館利用の変化

利用する図書館が変化した利用者 → 約30%

- ・単館利用から複数館利用になった「分散利用者(6%)」
- ・複数館利用から単館利用になった「集約利用者(6%)」
- ・以前利用していたが利用しなくなったが、再び利用しはじめた「再開利用者(5%)」
- ・新しく利用を始めた「新規利用者(12%)」

利用する図書館が変化していない利用者 → 約70%

- ・もともと単館利用の利用者「**単館変化なし(36%)**」  
→ 有職者層と高齢者に多く、理由は「距離が遠い」が最も高い。
- ・もともと複数館利用の利用者「**複数館変化なし(35%)**」  
主婦と有職者層に多く、理由は「距離が遠い」に次いで、「交通の利便性が悪い」と「駐車場が使えない」という点、交通面に関する理由が多い。

47

## 珠洲市民図書館・すずキッズランド





## 各館における利用圏域の新旧比較 / 交通手段と利用状況の変化

図書館別の交通手段

館名	徒歩	自転車	バイク	車	バス	電車	その他	回答者数(N=)
【旧亀山】	0.4%	4.2%	32.5%	62.6%	0.0%	0.4%	0.0%	265
【新亀山】	5.7%	4.3%	19.8%	57.7%	1.8%	10.7%	0.0%	600
【旧神戸】	31.5%	12.9%	8.3%	34.5%	5.0%	7.3%	0.4%	736
【新神戸】	40.7%	8.6%	8.7%	25.6%	5.9%	10.2%	0.3%	1160

・徒歩での利用者が増加している

・車で利用者が減少→車利用者がいる

・車で利用者が減少している

・電車での利用者が増加している

各館の利用状況パターン

館名	変化なし	変化あり	新規利用	回答者数(N=)
【新亀山】	52.8%	23.8%	23.4%	428
【新神戸】	68.3%	15.7%	15.9%	928

・新亀山 → 変化なしが53%と少なく、変化あり・新規利用が多い

・新神戸 → 変化なしが約7割で既往研究と同じ割合

「変化なし」: 新設移転前後での図書館の利用の仕方がなかった利用者

「変化あり」: 新設移転前後での図書館の利用の仕方が変化した利用者

「新規利用」: 今まで調査対象館を利用していなかったが新設移転によって新しく利用し始めた利用者

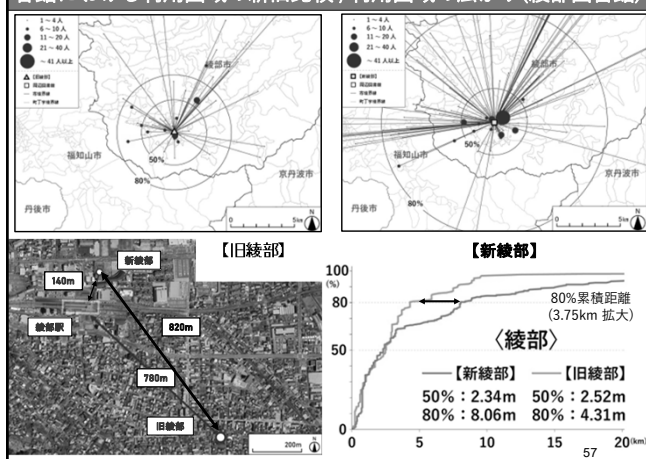
55

## 調査概要

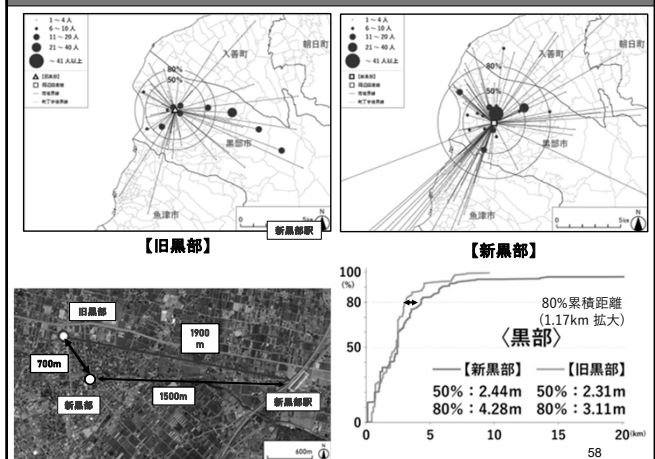
所在地	京都市		富山県黒部市	
図書館名	旧黒部市図書館	黒部市図書館	旧黒部市立図書館	黒部市立あおー図書館
外観				
行政区域面積	347.1 km <sup>2</sup>	347.1 km <sup>2</sup>	426.3 km <sup>2</sup>	426.3 km <sup>2</sup>
常住人口	32,177 人	30,596 人	38,856 人	39,598 人
竣工年月	1993年7月	2023年11月	1973年4月	2023年10月
施設種別	中央館	中央館	中央館	中央館
図書館面積	575 m <sup>2</sup>	1,250 m <sup>2</sup>	1,124 m <sup>2</sup>	3,516 m <sup>2</sup>
階数	2 階	2 階	2 階	4 階
複合形態	複合施設	複合施設	複合施設	複合施設
複合機能	集会施設	集会施設(地域交流センター) 子育て交流センター	集会施設	移住・人つなぎ支援センター 子育て支援センター、公民館
開館時間(平日)	9:30~18:00	10:00~19:00	9:00~20:00	9:00~20:00
開館時間(土日祝)	9:30~18:00	10:00~18:00	9:00~18:00	9:00~20:00
蔵書冊数/開架冊数	85,000 冊/58,000 冊	94,998 冊/37,973 冊	15,500 冊/63,000 冊	160,000 冊/67,000 冊
駐車場の駐車台数	19 台	74 台	8 台	100 台
最寄り駅までの距離	780 m	140 m	1,900 m	1,500 m
アンケート調査	2018年 9月29日(土)	2024年 9月28日(土)	2022年 9月3日(土)	2024年 9月21日(土)
来館者数(うち児童)	278 人 (84 人)	558 人 (168 人)	247 人 (59 人)	652 人 (115 人)
回収枚数(うち児童)	238 枚 (71 枚)	513 枚 (160 枚)	221 枚 (57 枚)	527 枚 (90 枚)
回収率(うち児童)	98.8 % (97.3 %)	94.8 % (97.0 %)	100.0 % (100.0 %)	89.6 % (82.6 %)

56

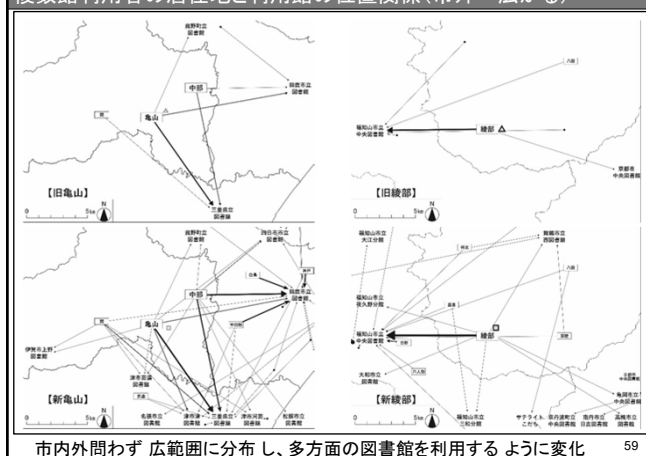
## 各館における利用圏域の新旧比較 / 利用圏域の広がり(綾部図書館)



## 各館における利用圏域の新旧比較 / 利用圏域の広がり(黒部市あおー図書館)

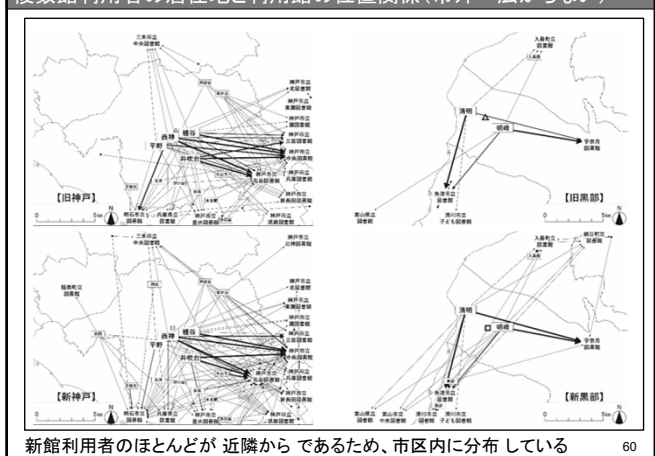


## 複数館利用者の居住地と利用館の位置関係(市外へ広がる)

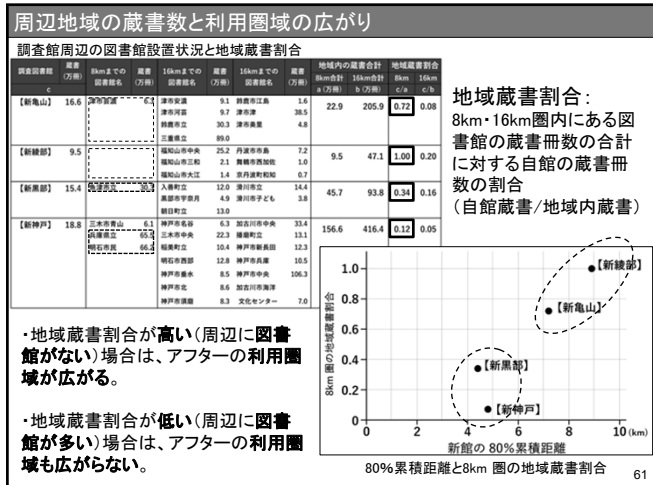


59

## 複数館利用者の居住地と利用館の位置関係(市外へ広がらない)



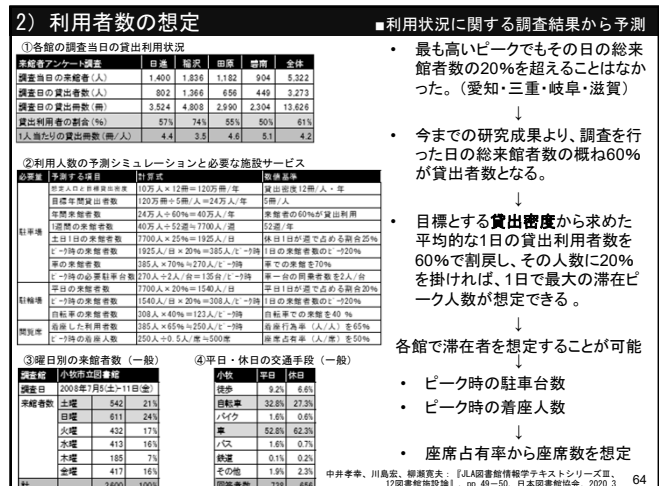
60



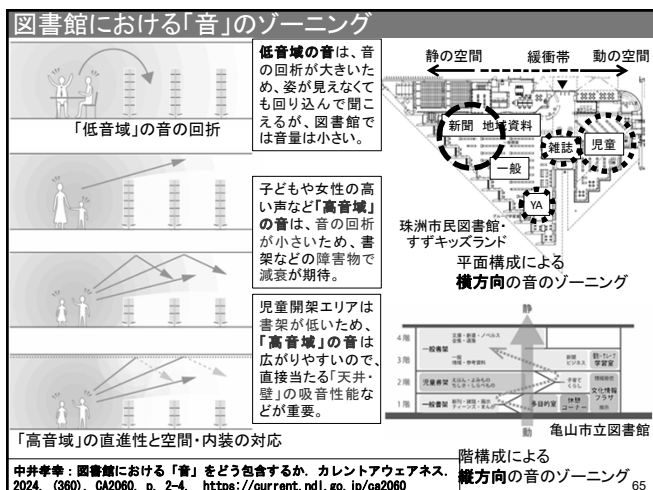
## 8. 利用者数の想定と「音」のゾーニング

- 1) ビフォー・アフターの調査結果から予測
- 2) 利用状況に関する調査結果から予測
- 3) 図書館における「音」のゾーニング

62



64



## 9. 海外事例(北欧の図書館)

- 1) OODI ヘルシンキ市立図書館 フィンランド  
(音のゾーニング、階構成、課題解決)
- 2) DOKK1 オーフス市立図書館 デンマーク  
(空間のつながり、交通アクセス、見える化)
- 3) DEICHMAN オスロ中央図書館 ノルウェー  
(音のゾーニング、居場所、空間のつながり)
- 4) デンマーク図書館の児童サービス  
(ベビーカー置場、育児父親、多様な活動)

66





## まとめ

- 1) 有機的につながる滞在型図書館
- 2) 多機能融合型の図書館利用のきっかけと継続
- 3) 地域全体で構築する多機能融合型の施設づくりとネットワークづくり
- 4) 多機能融合型図書館における「にぎわい」のまちへの展開

74

## 有機的につながる滞在型図書館

### ■「成長する有機体」として、また「記憶の倉庫」としての図書館

- ・ 図書館は地域住民の約3割しか利用していない。
- ・ 図書館への「近づきやすさ」、アクセシビリティが重要。  
→ (駐車場の確保、公共交通手段、ベビーカー置き場など)
- ・ 滞在時間が長い、本を読むだけでなく、空間の体験や経験。
- ・ いろんな種類の座席や閲覧席がある。→ 「選択肢」を用意。
- ・ いろんな「場所」が用意され、いろんな「活動」に出会えること。
- ・ 利用者が気持ちよく使える静と動の「音のゾーニング」を行う。

### ■新しい図書館と利用者の利用行動

- ・ 新図書館利用者の約60～70%が「変化なし」の利用者。
- ・ 利用が変化する割合は各図書館で異なるが、今まで使っていた図書館を使わなくなるのではなく、利用の選択肢が広がる。
- ・ 新規利用は約10～20%で、今まで利用してきた利用者にも向けたサービスを継続しないと、見限られてしまう。

75

## 多機能融合型の図書館利用の「きっかけ」と「継続」

「多機能融合型」の図書館づくり → 「きっかけ」と「継続」

### ■きっかけ

- ・ 来館を促し、興味を持ってもらうこと。
- ・ 利用の選択肢を広げ、親しみ・近づきやすく。
- ・ 本の貸し借りだけでなく、多様な学びの場を用意。
- ・ 身近な場所のステップ(踏み台)から活動の範囲を広げる。  
(施設利用のスプリング・ボード現象)

### ■継続

- ・ 活動の見える化、拠点化。
- ・ 活動をアーカイブし、記憶する。
- ・ 活動の記憶はいつでもどこでも見れる。
- ・ 活動の段階に応じた場所とサポートの確保。



ソウル市図書館「OUTDOOR LIBRARY」

図書館は「屋根のある広場」として、様々な学びの活動の器に！ 76

## 地域全体で構築する多機能融合型の施設づくりとネットワークづくり

新しく多機能融合型の図書館を整備したからといって、地域の課題がすべて解決できるわけではない。

↓

- ・ 他の公共施設との連携。
- ・ 地域全体で構築したネットワークの中で図書館を捉え、機能分担や役割分担の検討。
- ・ 機能連携や機能融合した活動の器を用意。
- ・ 「図書館」は多機能化するが、資料・情報提供は不変。

## 多機能融合型の図書館における「にぎわい」のまちへの展開

新しく多機能融合型の図書館ができると、来館者数は増加。

↓

- ・ 施設内のカフェなどの店舗は入れ替わりが早い。
  - ・ 利用者が施設内で飲料などを購入しない。
  - ・ 利用者が建物周辺の街や地域へ広がっていない。
- ↓
- ・ 新しく施設自体にできた新しい人流を、いかに周辺や地域へ広げるかが、大きな課題。

77

ご清聴ありがとうございました。

